

政務調査報告

産業厚生委員 吉松幸夫

10/30～11/1

視察場所(愛知県・東海市、静岡県・焼津市、沼津市)

10月30日 東海市 場所 しあわせ村保健福祉センター

「めざせ健康寿命日本一」の取り組みについては、
“トマトde健康街づくり”を合言葉に、健康のために
トマトジュースで乾杯や、トマトを使ったスイーツなど
さまざまなイベントにもトマトをからめて徹底的に
トマトがらみで健康に取り組んでいる所がとてもすばら
しい。

また、健康に関する基準を目に見えるようにわかりや
すく、取り入れやすい方法を提供することで市民が受け
入れやすくなっており、健康になることを楽しんでいる
様子がうかがえました。

今後は、地域における健康づくりの担い手の養成に
取り組んでいって地域活動を続けていきたいとの事
でした。

10月31日 ・焼津市

公共下水道事業について

公共下水道事業の一番の問題は汚水処理のしくみの中での悪臭対策です。焼津市下水処理場では悪臭対策のために、処理施設に屋根をもうけその上に緑を敷きつめ限りなく悪臭が外に出ないようにしているところに感心しました。また、枕崎市と違って水産加工場が下水に接続している数が少ないのも枕崎市と違うようです。

・沼津市

沼津市漁港は年間166万人の観光客が訪れる、にぎわいスポットである。沼津港は「沼津港みなとまちづくり推進計画」を基に、官・民が一体となって沼津港の活性化に取り組んでいる事がわかった。枕崎港と違うのは、港を中心に飲食店街や魚市場などが港を囲むように設置されており、港一帯が一つのテーマパークのような形態をしておりリピーターが多いという事がうかがえます。

立地条件としては、都心に近く、数時間で行けるところも要因であろうが、関係者の熱い心の集まりが今までの盛り上がり築いてきたのではないか。問題点としては、港に行くまでのアクセスが交通渋滞をまねいてるという事でこれを解決しなければならない。解決できたらさらに発展する漁港になることは間違いないことだろう。

本市も今以上に枕崎港を囲むような政策に取り組んでいく必要があると思われる。